

外部評価軽減要件確認票

【重点項目への取組状況】

重点項目	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	自治会に加入しており、もちつき大会、ホームの運営推進会議や防災会の参加呼びかけは回覧板で各戸に配布をした。町内の祭りには、子ども会の「棒の手」の訪問があり、入居者がおひねりをあげる等の交流があった。外出先で知り合ったボランティアの訪問もある。	
重点項目	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	年4回開催しており、行事報告、外部評価の報告を行った。会議で出された意見により、ホームを知ってもらい地域に貢献できるよう、もちつき大会の日に合わせて推進会議と防災会を企画し、近隣に参加を呼びかけて、救急救命の講習を行った。	
重点項目	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	事故や何かあった時には、担当者に報告や相談をしている。町内のグループホームの連絡会に町の担当者が年1回出席し、意見交換をしている。防災会企画の際は、福祉課、安心安全課に相談して、地域との交流についてアドバイスを受けた。	
重点項目	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	会議では通常の議題のほかに、一人一議題を持って参加するようにし、些細なことでも出し合っている。正職員、パートの区別なく、互いに気付いたことを話し合っており、職員の意見、提案を汲み上げている。年1回、本社が書面により個別の意向調査を実施している。	
重点項目	その他軽減措置要件	評価
	「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	
	運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	×
運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。		
総合評価		×

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

自治会に加入しており、もちつき大会、防災会の参加呼びかけは回覧板で各戸に配布をした。日本舞踊、足つばマッサージのボランティアの訪問があり、町内の祭りには子ども会の「棒の手」が来て入居者がおひねりをあげた。推進会議で出された意見により、地域に役立つ防災会を計画し、多くの住民が参加できるようもちつき大会の日にあわせた。防災会については町の福祉課、安心安全課に相談してアドバイスを受けた。町内のグループホーム連絡会で意見交換をしている。家族会は年4回開催しており参加者は多い。家族の面会が多く職員とも自然な形でよい関係ができています。

1. 外部評価軽減要件

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。

運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。

運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2 外部評価軽減要件 における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域とのつきあい	（例示） 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取り組み	（例示） 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	（例示） 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

（注）要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。